

もう一人のスルタンの話。

彼はフンブニの町に住んでいた。このスルタンはとても厳しい掟を課していた。結婚を望む女は誰でも、結婚する権利を認められる前にスルタンが処女を奪えるように、彼のところに赴かなくてはならなかった。これは、ガジジャとバジニのすべての人を困らせていた。

ある日、ヒフディエ・シャンボワニの娘が結婚することになった。これがスルタンの知るところとなり、その家族は娘を翌月に結婚させようとしていることが知らされた。そこでスルタンは、娘の処女を奪えるように、結婚式の前日にその若い娘を彼の下に連れてくるよう命じた。この知らせを聞いて娘は泣きに泣き、ずっと泣いていた。

この月が来る前に、スルタンは宮殿にいたが、その時期はとても寒かった。彼は夕食をとっていた。スルタンが食事を終わると、下僕は(鍋の)蓋を取ってそれを厨房に置き、それから鍋の底の残りものを食べた。彼は王宮に戻った。というのもスルタンが呼んだからである。彼はまだ鍋を抱えていて、口は一杯で、唇から(汗が)したたり落ちていた。

「スルタン閣下、実にひどく凍えます。我々のように低いところにも金玉が凍りそうなので、高いところに住んでいる連中がどんなに我慢しないとイケないか、想像もつきません。あいつらの金玉はだいぶでかくなっているに違いありません」。

スルタンが彼に命じた。

「わしの部屋の剣を取りに行行って持って来い。」

彼はバジニのスルタンなのだ。

「わしの剣をここに持って来い」。

「今わしに言ったばかりのことをここで繰り返してみろ」。

下僕は繰り返した。

「ここでも金玉がひどく凍えるので、上の方に住んでいる連中がどうなのか想像もつきません」。

スルタンは下僕の首を刎ねた。首を刎ねてからも、お話はそこで終わらない。

ある日バジニのスルタンは、胎児が母親の腹の中でどうしているのかを見てみたいという好奇心にかられた。彼は兵隊を町に遣わして、身重の女性を連れて来させた。彼は剣の一撃で女の腹を開き、胎児を取り出して、母親の腹の中でどうなっているかを見た。

ことはそれだけでは済まなかった。

サンバ・フマというフンブニの男がいた。この男はとても強い男で海の中で魚と戦うことも辞さないほどだった。スルタンが彼に言った。

「生きた鮫をこの町まで持ってこい。もし持ってこなければお前の首を刎ねる。もし、お前がそれを釣ってから海に放したら私にはわかるからな。男たちがお前を見張る。彼らは海の底でお前を見張ることが出来るし、お前が気づかないでお前を見張るだろう。彼らは私のところの漁師でお前のような潜り手なのだ」。

翌日、サンバ・フマは一匹の鮫をやっと捕まえ、それを岸まで引き上げさえた。フンブニにはプールに似た場所があったが、それは殆ど海のように小船やカヌーを停泊させておけた。ここに鮫が放たれた。一人の人が捕まえられて腕を切り落とされた。血が水中に流れ、鮫が興奮した。鮫は狂

ったように人間の血に飢え、その男(腕を切り落とされた)は水中に投げ入れられて鮫が貪り食った。スルタンは「その鮫を捕らえて去れ」と言った。

このようにその月が過ぎ、(結婚する)娘を連れて行く日が来た。彼女を連れに人がやって来た時、彼女は両親に言った。

「私が、バジニのスルタンと床を共にする最後の女です。《地獄で踊る者》と呼ばれているこのスルタンと」。

スルタンの館は海の上にあった。この館は今でもあるが、若い娘はそこまで連れて行かれた。スルタンの館に入る時に、彼女はサルヴァとスカートを見に付け、レッソ(ショール)をまとっていた。だが、彼女はサルヴァの下にジェンベ(短刀)を隠していた。彼女は入った。スルタンは彼女を愛撫し始めた。彼女は言った。

「あなたがいいと思うことを何でも私にしてくださって構いません。でも、スルタンさま、お願いしたいことがあります。灯りを消して頂きたいのです」。

スルタンは若い娘の願いを聞き入れて灯りを消した。彼が愛撫している間に、娘はジェンベを取り出して、彼の腹を刺した。腹を刺しながら、彼女はスルタンが彼女の腕の中で息絶えるまで、彼の口を上から手で押さえた。彼女は気を静めてから両手の血を洗い流し、衣服を身につけてから出た。娘が出てくるのを見てから、衛兵たちはスルタンを待っていた。彼らは長く待ったが、夜遅くなくてもスルタンの言葉は聞こえなかった。

次の日、彼らはとうとう中に入り、スルタンが死んでいるのを見つけた。娘は外に出てから自分の家には戻らず、リマニ・ヤンバジニ(バジニの丘)と呼ばれる場所に隠れていた。彼女は海岸の岩の後ろに夜も隠れていた。スルタンが死んでいるのが見つかり、バジニにそのことを知らせるために喇叭が鳴らされた。スルタンは葬られ、娘が探された。彼女がやっと見つかり、バジニ地方のスルタンに選ばれた。これがバジニのスルタンのお話。